

<令和5年度 7月号>

令和5年6月30日



横浜市立新石川小学校

学校だより

【学校教育目標】

豊かなかかわりを通して
ともに高め合い 主体的に取り組む子

学校 HP はこちらから

TEL911-6281 FAX912-4892



なすことから学ぶ

校長 小嶋 千里

給食室工事が終了し、7月から給食が再開します。

一年近い工事期間中、様々なご協力をいただき誠にありがとうございました。

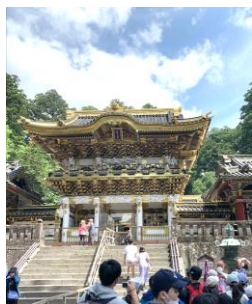
6月6、7日、5年生が道志村宿泊体験学習へ行ってきました。

ハイキングや田植えなど様々な活動を行いますが、とりわけ印象的なのは、地元の林業組合の方々をインストラクターとして行う林業体験です。本校のプログラムは本格的です。実際に子どもたちが山に入り、樹齢20年ほどの木にくさびを入れ、ロープをかけ、子どもたちが力を合わせて木を引き倒します。木がいよいよ倒れる際には「ピー」と注意喚起の笛の音が山に鳴り響き、メキメキメキと音とともに木が傾き、ドーンと振動とともに倒れます。かなりの迫力です。子どもたちは4年生の時に水源涵養林のことについても学んでいますが、実際に間伐体験を通して、水源の森を守ることや林業について、五感を通して学んでいると感じます。



グループで1本間伐します

6月19、20日には6年生が日光修学旅行へ行ってきました。華厳の滝や戦場ヶ原では、日光の独特の地形や自然を体感しました。2日目に訪れた二社一寺では、壮麗な陽明門、有名な三猿や眠り猫、五重塔や鳴き竜を実際に見て、人の技の粋や江戸幕府の権勢を感じました。6年生は歴史の理解も深まっていることから、これまで知識として分かっていたことと、見学して分かったことが結びついて実感を深めている様子がうかがえました。実際に建物の屋根瓦一つ一つにまで葵の紋が施されていることなどを見つけて感心していました。今年は他の学校団体との



職人の粋、陽明門に感銘

重なりが少なかったため、余裕をもって見学することができました。

宿泊行事は子どもをぐっと成長させます。出発時と帰校時では子どもの表情が全く違います。体験や見学だけでなく、家庭を離れ、自分たちの力で過ごす2日間、食事やお風呂、部屋での時間など、きまりを守りながら、友だちと協力して、自分の役割を果たします。外でしかできない経験をし、自立への大きなあゆみとなります。

ChatGPTをはじめ生成AIの話題が盛んです。AIにはできないことや人間らしさが強みとなる時代を生きていく子どもたち。こうした実体験を通じた教育活動を大切に、豊かなものの見方や考え方を培っていかれるよう進めて参りたいと思います。

あと3週間で学校は夏休みを迎えます。新学期のスタートより保護者や地域の皆様よりいただきましたご支援・ご協力に心より御礼申し上げます。

7月22日に下谷自治会様とPTA共催の夕涼み会・盆踊り・花火大会が行われます。先日、自治会館で打合せがあり学校も出席させていただきました。自治会の方々、関係団体の方々、PTAの方々が一丸となって新石川の子どもたちのため、まちのために準備をしてくださっています。このように地域一丸となったお祭りがある新石川はとてもすてきだと思いました。校内でも「夕涼み会がすごい楽しみ！」との声があちこちで聞かれます。子どもの笑顔が輝く楽しい夏の日の思い出となりますように。